

新婚さん いらっしや〜い



廣田拳士さん、香菜恵さんご夫婦（馬場）

新婚さん Q&A

- Q. 入籍日は？
A. 令和2年6月30日
- Q. 知り合ったきっかけは？
A. 友達の紹介です。
- Q. お互い何と呼び合っていますか？
A. 夫：かなえ
妻：けんちゃん
- Q. 日ごろ生活していくなかで心がけていることは？
A. 何事も楽しんでやること！
感謝の気持ちを忘れないこと！
- Q. 奥様から一言！
A. 毎日お仕事お疲れさまです。
これからも笑顔で楽しい毎日を過ごしていきましょう！

※広報に掲載を考えている新婚ご夫婦はぜひ問い合わせください！

問 本庁 まちづくり推進課 地域振興係 ☎0968・86・5721

当時1センチメートルほどの大きさがだった1万匹の稚えびが、7月になり8センチメートルまで成長しました（8月に入り、設備の故障で大半のえびが死んでしまうというトラブルがありました）。
今後、養殖の研究を続け、えび弁当を開発して、緑彩館で販売する予定です。



クルマエビが養殖されている水槽

今年4月、三加和温泉なごみ乃湯横の駐車場にビニールハウスが建ちました。
中ではなんとクルマエビが養殖されています。専門家から助言を受けながら、三加和温泉や緑彩館のスタッフが育てています。

「和水町のような山間部は海鮮が身近ではありませんが、ここで養殖をして、地域のみなさんに新鮮なクルマエビを食べてもらって喜んでもらいたいと思います。最終的には『なごみえび』としてブランド化して、和水町を盛り上げていきたいと思っています。頑張っておいしいエビを育てます」と三加和温泉支配人小幡浩之さんは語ってくれました。



クルマエビ

水槽内にはホースを張り巡らせ、冬は温泉を流して温め、夏は冷たい地下水を流し水槽内を冷やして温度管理をするなど、この場所だからこそできる飼育方法を試行錯誤しながら研究しているそうです。

令和2年7月豪雨で被災された人へ 医療保険の窓口負担や介護保険の利用料が免除されます

問 税務住民課 国保年金係 ☎0968・86・5723
健康福祉課 介護保険係 ☎0968・86・5724
住民課 税務住民係、健康福祉係 ☎0968・34・3111

医療機関、介護サービス事業所などの窓口で被災したことを申告することで、医療保険の窓口負担や介護保険の利用料の支払い（7月6日回～10月31日田診療分）が、不要になります。

対象者 国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療、協会けんぽに加入している人で、次の①～⑤のいずれかに当てはまる人

- ①住家の全半壊、全半焼、床上浸水、家に住める状態にない人（罹災証明書の提示は必要ありません。窓口で申告してください）
- ②主たる生計維持者が死亡、重篤な傷病を負った人
- ③主たる生計維持者の行方が不明である人

④主たる生計維持者が業務を廃止、休止した人
⑤主たる生計維持者が失職し、現在収入がない人
※この免除を受けるには、上記①～⑤のいずれかに当てはまる必要があるため、医療機関の窓口で申告した内容について、後日、加入している保険者から確認が行われることがあります。

※上記の医療保険、介護保険の加入者であれば、県外の医療機関などを受診、介護サービスを利用した場合でも支払いを求められることはありません。
※入院、入所時の食費、居住費などは支払う必要があります。

※被災した人は、被保険者証がなくても医療機関などを受診、介護サービスを利用できます。

県民手帳はお近くの書店で

問 まちづくり推進課 企画調整係 ☎0968・86・5721

2021年版熊本県民手帳（税込600円）が、今月下旬に販売開始予定です。3色あり、レッド・ネイビーはBOXタイプ、グリーンは横罫タイプとなっています。県民手帳は、お近くの書店などで購入ください。

町内取扱店舗

- セブン-イレブン 菊水インター店
和水町前原235番地 ☎0968・75・8033
- セブン-イレブン 和水町江田店
和水町江田487番地7 ☎0968・57・7432

近隣市町取扱店舗

- TSUTAYA AVクラブ玉名店
玉名市中1686番地3 ☎0968・88・2520
- BOOKSあんとか やまが店
山鹿市山鹿721番地2 ☎0968・43・6166

熊本県統計協会へ直接申し込みし購入することもできます。詳しくは、お問い合わせください。
熊本県統計協会 ☎096・333・2174

令和2年7月豪雨に伴い 県南地域へ町職員を災害派遣 県南地域への応援町職員 延べ58人

問 総務課 行政係 ☎0968・86・5720

和水町では、7月の豪雨で大きな被害を受けた県南地域の市町を対象に、これまで延べ58人（8月23日現在）の町職員を派遣しており、今後も引き続き、人的支援を行っていく予定です。

被災地域の市町村では職員のマンパワーが不足しており、県内外から市町村職員が被災地域の応援のために派遣されています。当町の職員も避難所の運営、災害ごみ処置、罹災証明書発行、避難者や自宅滞在者への保健活動などの業務にあたり、被災された地域の住民支援と、自治体職員の加重業務の解消や負担軽減のために一役を買っています。

この災害派遣で体験した貴重な経験は、今後の町の防災行政のために活かしていきます。



芦北町の災害ごみ処理置場のようす